第3回Web研修会開催報告
学術局　大内田博文

令和2年11月7日（土）、福岡県言語聴覚士会として3回目となるWeb研修会を開催し、32 名の会員の方に参加していただきました。研修会の内容は「県士会の役割」と「喉摘後のリハビリテーション」です。

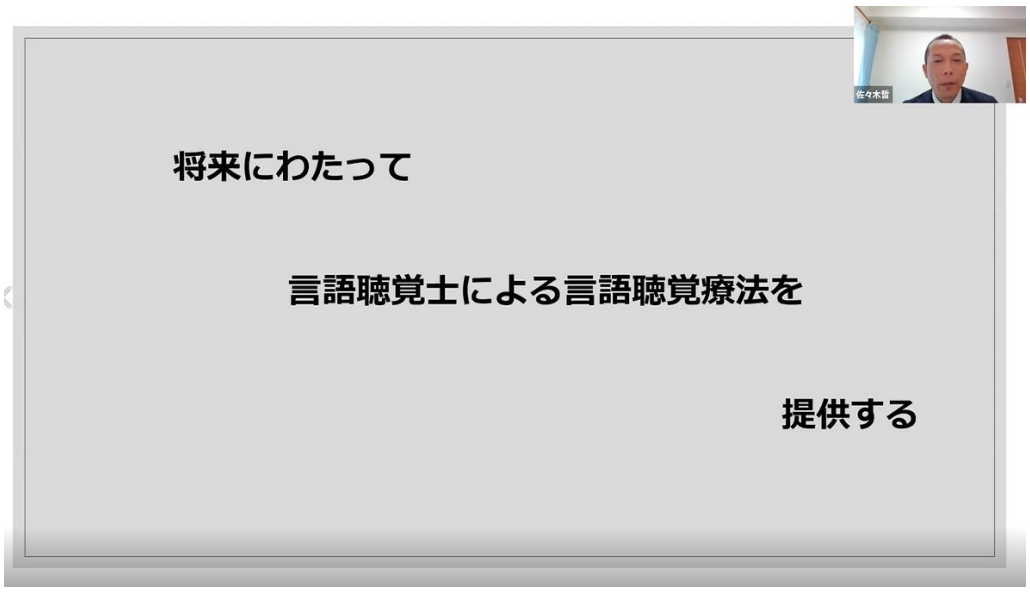
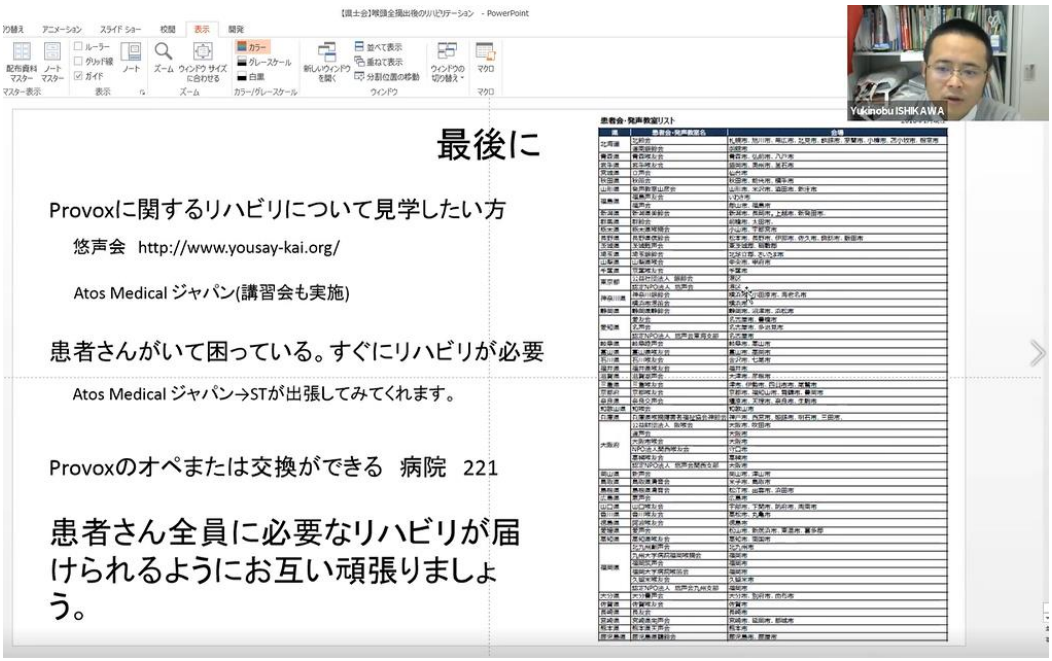
県士会の役割では、福岡県士会の佐々木副会長より、組織図をもとに各部署の役割について話していただきました。県士会の仕事も年々多様化しています。研修会の開催は県士会にとって一部の仕事でしかありません。言語聴覚療法の普及や啓発、地域の方々の支援、他団体との協力など、やらなければならないことはたくさんあります。今後とも会員の方々のご協力をお願いいたします。

喉摘後のリハビリテーションについては、国際医療福祉大学 福岡保健医療学部の石川幸伸先生に話していただきました。喉摘後の音声獲得や嗅覚障害について、先生の研究結果をもとに説明があり、大変分かりやすい講義でした。特に嗅覚障害は、近年、パーキンソン病やアルツハイマー型認知症にみられる症状であることが知られています。リハビリテーションの中で嗅覚障害に取り組むことができるのは言語聴覚士だけです。今後拡大していくべき領域であると感じました。

新型コロナウイルス感染症の影響でこれまでとは異なる様式で研修会を開催しております。今後のイベント開催の案内はホームページやSNSを通して発信されます。ぜひ、LINEなどの登録をお願いいたします。

今回の Web 研修会の録画映像は、福岡県県士会会員であればご覧いただくことができます。こちらもホームページをご確認ください。

写真：「県士会の役割」　佐々木副会長



写真：「喉摘後のリハビリテーション」　石川幸伸先生